



わたし、小柄だけど強いんです！

菊地 美乃里さん

(川角小学校4年生)

国際大会で優勝！

朝会するときなど、皆で整列をするときは決まって先頭になる。小柄な女の子。しかし、ひとたび試合とな

るとそんな小柄な女の子からは想像できない程の力を発揮するのが菊地美乃里さんである。彼女が現在取り組んでいるのが「空手」である。彼女は2010年に行われた同門の空手会主催による国際大会6歳7歳女子の部で優勝した。「試合に出ると、あつちこつち行けて、楽しいよ」とは本人の言葉である。国際大会に出場する程の選手であるにもかかわらず、実にあつけらかんとしていたのが印象的であった。しかし、試合となると、ひとまわり以上体格差のあ

る相手に果敢に向っていく。動きの速さと手数の方で身長差を補い、前へ前へと攻めていくのが美乃里さんの戦術だ。

負けず嫌い！

「昔から男の子と遊ぶ機会が多かったので、性格が男の子っぽいんですよ」と笑って話すのが母久美子さんである。もともとはご主人の康典さんが、娘に武道をさせたかったことがきっかけとなり、5歳から空手を始めた。今は、週に3回滑川町にある道場まで通って練習をしている。「道場に通うのは楽しい。練習で技を掛けられたりすると痛いことがあるけど、試合だったら痛くないよ」と美乃里さんは笑顔で話す。そんな娘に対し、久美子さんは「以前は、毎日道場に通っていたのですが、その頃からやめたいとは一度も言ったことがないんです。練習でも弱音をほかず、試合に向けて一生懸命に取り組んでいます。実は、とっても負けず嫌いな性格なんです」と笑顔で話す。

美乃里さんの性格がわかるエピソードがある。学校で行われたマラ



試合をする美乃里さん

ソン大会でのこと。グラウンドを周り、外へ出て行くとき3番手を走っていた美乃里さん。その時、空手を教えてもらっている先生から「戻ってくるときには先頭で来い！」との檄(げき)に奮起(ふんき)。グラウンドに戻って来たときには、独走で帰ってきて、そのままゴール。負けず嫌いなうえに、すごい根性である。

強く、優しく

「武道を習うことで、精神的には強く、そして人に対しては優しくなつてほしい」と思い空手を習わせました」と久美子さんは話す。普段の美乃里さんは、鬼ごっこをするなど

友だち同士で遊ぶことが好きだという。しかし、友だちと空手の話をすることはないそう。友だちとの時間と空手の時間を本人なりに分けて考えているように感じた。「結構、人に強く言えないところがあるんですよ」とは久美子さん談。美乃里さんなりの他人に対する優しさの現われではないかと思う。

両親の思いを受け、美乃里さんは、試合で強く、人に優しくと、今まさに成長中だといえる。

「今年の目標は」との問いに「国際大会での優勝！」と力強く答えてくれた。強く優しい女の子は、今日も元気いっぱい道場に通っている。



菊地美乃里さん